



KUMAGAI GUMI

———— Building the future

第 **79** 期

中間株主通信

平成27年4月1日▶▶▶平成27年9月30日

株式会社 熊谷組

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成27年9月30日をもって第79期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の概況についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、生産や輸出に弱い動きがみられるものの、企業収益の改善が進むなかで設備投資は増加基調にあり、個人消費も雇用・所得環境の着実な改善を背景に底堅く推移するなど、景気は緩やかながら回復を続けております。

建設業界におきましては、企業の建設投資は増加を続け、住宅投資も持ち直しておりますが、公共投資は高水準を維持しているものの減少しており、受注環境は総じて弱含みとなりました。また、コスト面では、鋼材市況が軟化傾向であります。建設技術者・技能者不足や労務費高止まりは継続しており、依然リスクが内在する状況が続いております。

当上半期の当社グループの連結業績につきましては、売上高は、前年同期比1.9%減の1,639億円となりました。利益は、売上総利益率の改善により、営業利益は同66.5%増の90億円、経常利益は同103.7%増の103億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は79億円となりました。

今後のわが国経済は、海外景気の下振れなどがリスクとして存在しますが、雇用・所得環境の着実な改善が続くもとで、景気は緩やかに回復していくことが期待されます。

建設業界におきましては、企業収益が明確な改善傾向をたどるなかで民間設備投資は増加基調を維持し、住宅投資も持ち直しを続けると思われますが、公共投資は高水準を維持しつつも緩やかな減少傾向が続くとみられ、受注環境は総じて弱い動きとなることが予想されます。また、建設技術者・技能者不足の進行や労務費のさらなる上昇といったリスクには引き続き留意する必要があります。



取締役社長

樋口 靖

このような状況のもと、当社グループは本年5月に、「再生」から「成長」に向けて将来にわたり市場環境に影響されない安定した収益力の確保を目指した「中期経営計画（平成27～29年度）」を策定し、将来に向けた収益基盤の整備に取り組んでおります。

現下の建設市場は、東北での震災復興工事、社会インフラの強靱化・老朽化対策に加え、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う関連投資及びリニア中央新幹線の新設など、中期的には一定の建設需要が見込まれる環境にあります。しかし2020年以降は、社会インフラ整備も「新規」から「維持・更新」へと質的に変化しながら、建設市場は全体として縮小していくことが予想されます。当社グループとしては、将来にわたり市場環境に影響されない安定した収益基盤を確立すべく、グループの協働による相乗効果を取り込んだ成長戦略に取り組んでまいります。

これまで長年にわたり株主をはじめとする関係各位に多大なご支援を賜り、本年6月に復配を達成した今「全員参加の経営」をスローガンに、お客様に最高の“感動”をお届けする『建設サービス業』を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 企業集団の財産及び損益の状況の推移

(百万円)

区 分	前上半期	当上半期	前 期
売 上 高	167,052	163,924	362,090
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△167	7,988	5,458
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)	△52銭	21円37銭	15円72銭
総 資 産	233,830	234,104	255,514

四半期連結財務諸表の概要

■ 四半期連結貸借対照表

(百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日現在)
(資産の部)	
流動資産	193,296
固定資産	40,807
有形固定資産	15,475
無形固定資産	272
投資その他の資産	25,059
資産合計	234,104
(負債の部)	
流動負債	139,987
固定負債	33,832
負債合計	173,819
(純資産の部)	
株主資本	56,910
その他の包括利益累計額	3,373
純資産合計	60,284
負債純資産合計	234,104

■ 四半期連結損益計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	163,924
売上原価	147,975
売上総利益	15,948
販売費及び一般管理費	6,940
営業利益	9,007
営業外収益	1,556
営業外費用	227
経常利益	10,337
特別利益	923
特別損失	1,466
税金等調整前四半期純利益	9,794
法人税、住民税及び事業税	2,067
法人税等調整額	△261
四半期純利益	7,988
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,988

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	79
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△4,851
現金及び現金同等物の期首残高	71,702
現金及び現金同等物の四半期残高	66,851

○連結の範囲について

連結子会社7社及び持分法適用関連会社3社

(主要な連結子会社)

株式会社ガイアートT・K	(東京都新宿区)
テクノス株式会社	(愛知県豊川市)
ケーアンドイー株式会社	(東京都新宿区)
華熊營造股份有限公司	(台湾)

ポイント

■ 四半期連結貸借対照表

総資産は2,341億円と前期末に比べて214億円減少しました。これは、現金預金及び受取手形・完成工事未収入金等の減少などによるものです。また純資産は利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ67億円増加の602億円となりました。自己資本比率は前期末に比べ4.8ポイント向上し25.8%となりました。

■ 四半期連結損益計算書

売上高は前年同期に比べ31億円減少の1,639億円となりましたが、売上総利益率の改善により経常利益は103億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は79億円となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

仕入債務の減少等により、営業活動は26億円の資金減少となりました。投資活動では有形固定資産の取得による支出と投資有価証券の売却による収入などにより1千万円の資金増加となりました。財務活動では借入金の返済を進めたことや配当金の支払いなどにより22億円の資金減少となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ48億円減少の668億円となりました。

単体の業績について

受注高は、国内土木工事の減少等により前年同期比28.0%減の1,226億円となりました。このうち、土木工事は443億円、建築工事は782億円であり、これらの発注者別内訳は官庁29.0%、民間71.0%であります。

売上高につきましては、前年同期比6.2%減の1,288億円となりました。このうち、土木工事は436億円、建築工事は851億円であり、これらの発注者別内訳は官庁34.5%、民間65.5%であります。

この結果、下半期への繰越高は、同0.7%増の2,930億円となりました。

利益につきましては、経常利益は98億円、四半期純利益は78億円となりました。

■ 受注高・売上高及び繰越高 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで) (百万円)

区 分	受注高	売上高	繰越高
土 木	44,382	43,654	120,329
建 築	78,272	85,154	172,719
合 計	122,655	128,808	293,048

■ 財産及び損益の状況の推移 (百万円)

区 分	前上半期	当上半期	前 期
受 注 高	170,357	122,655	329,495
売 上 高	137,320	128,808	288,158
四半期(当期)純利益	405	7,877	6,778
1株当たり四半期(当期)純利益	1円26銭	21円02銭	19円47銭
総 資 産	192,118	190,319	208,570

■ 主な受注工事及び完成工事

受注工事

- 東北中央自動車道 やまがたざおうトンネル工事：東日本高速道路株式会社
- 船明ダム下流洗掘対策工事（長期的対策）：電源開発株式会社
- (仮称) 神戸市中央区栄町通7丁目計画：三井不動産レジデンシャル株式会社
- (仮称) 門真市立総合体育館建設工事：門真市

完成工事

- 徳山（発）新設工事の内土木本工事第1工区工事：中部電力株式会社
- 北上川下流長面河口地区築堤工事：国土交通省
- 社会医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院建設工事：社会医療法人鹿児島愛心会
- (仮称) 三井アウトレットパーク北陸小矢部計画：三井不動産株式会社

CSR報告書の記事を一部ご紹介

トップインタビュー

当社は、昨年度優先株式の消却完了と復配を達成し、過去十数年にわたった「再建」の歴史に区切りをつけ、新たな1ページを開く「再生元年」のスタートにあたり取締役社長樋口靖にインタビューを行いました。

熊谷組グループトップ座談会

当社グループは、再生元年と位置付ける本年度からの中期経営計画の柱に「グループ成長戦略」を据えています。今回は施工系グループ4社の社長と取締役社長樋口靖が意見交換を行いました。



社会課題解決への道筋

首都圏における交通渋滞緩和などが期待される「3環状」の一つとなる東京外かく環状道路の工事において、難易度の高い工事を実現するためにグループ連携で多くの課題に立ち向かった「田尻地区函渠その5工事」を取り上げています。

ご希望の方にはCSR報告書をお送りします

本年8月に「熊谷組グループCSR報告書2015」(A4版、40ページ)を発行しました。当社グループの「ものづくり」の取り組み姿勢、環境、社会貢献に関する具体的事例を幅広く紹介しています。

ご希望の方はメールまたはFAXで、「CSR報告書希望」と書き、送付先の郵便番号、住所、氏名を当社下記CSR報告書請求先までお知らせください。

なお、お知らせいただいた個人情報は、CSR報告書の送付のみに使用させていただきます。

CSR報告書請求先

(メールアドレス) info@ku.kumagaigumi.co.jp
(FAX) 03-5261-9665



発行済株式の総数

377,544,607株

株主数

58,119名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	42,125	11.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	22,543	6.01
熊谷組取引先持株会	17,143	4.57
CBLDN STANDARD LIFE ASSURANCE LIMITED-PENSION FUND	10,294	2.74
株式会社三井住友銀行	5,913	1.57
HAYATA	5,773	1.54
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	5,407	1.44
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD ACISG (FE-AC)	4,253	1.13
熊谷組互助会	3,883	1.03
野村證券株式会社自己振替口	3,443	0.91

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

取締役及び監査役

取締役社長 (代表取締役)	樋口 靖	常務取締役	嘉藤好彦
取締役副社長 (代表取締役)	石垣和男	取締役	広西光一
取締役副社長	草桶昌之	常勤監査役	竹間忠尚
専務取締役	小川 晋	常勤監査役	吉川 司
専務取締役	堀田俊明	監査役	垣見 隆
常務取締役	櫻野泰則	監査役	鮎川真昭

(注) 取締役広西光一氏は社外取締役、監査役垣見 隆及び鮎川真昭の両氏は社外監査役であります。

執行役員

※執行役員社長	樋口 靖	執行役員	土屋良直
※執行役員副社長	石垣和男	執行役員	飯田 宏
※執行役員副社長	草桶昌之	執行役員	平島 司
※専務執行役員	小川 晋	執行役員	今野穂信
※専務執行役員	堀田俊明	執行役員	西川邦隆
※常務執行役員	櫻野泰則	執行役員	石澤正通
※常務執行役員	嘉藤好彦	執行役員	林 克彦
常務執行役員	渋川 智	執行役員	日高功二
常務執行役員	小川嘉明	執行役員	岸 研司
常務執行役員	高嶋正彦	執行役員	梶山雅生
常務執行役員	山崎 晶	執行役員	大塚拓美
執行役員	大島邦彦	執行役員	上田 真

(注) ※印は取締役兼務であります。

会社の概要

(平成27年9月30日現在)

創業 明治31年1月 資本金 133億4,116万2,615円
設立 昭和13年1月 従業員数 2,255名

主要な営業所等

本店

福井市中央2丁目6番8号
〒910-0006 TEL (0776)21-2700

東京本社

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03)3260-2111

北海道支店

札幌市中央区南1条西6丁目11番地
〒060-0061 TEL (011)261-7271

東北支店

仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011 TEL (022)262-2811

首都圏支店

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03)3260-4750

名古屋支店

名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402 TEL (052)238-3011

北陸支店

金沢市広岡2丁目13番5号
〒920-8721 TEL (076)208-3230

関西支店

大阪市西区靱本町1丁目11番7号
〒550-0004 TEL (06)6225-2226

中四国支店

広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051 TEL (082)241-3222

海外拠点

中国(香港)、台湾、ベトナム、スリランカ、ミャンマー

九州支店

福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号
〒810-0004 TEL (092)721-0011

国際支店

東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03)3235-8639

技術研究所

つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651 TEL (029)847-7501

株式インフォメーション

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座に記録された株式についてのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

特別口座に記録された株式については、特別口座の口座管理機関である右記の三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせください。

単元未満株式の買増・買取請求制度のご案内

当社の株式は1単元が1,000株となっており、単元未満株式(1~999株)は、市場での売買ができません。単元未満株式をご所有の株主様は、当社に対して1,000株(1単元)となるよう買増請求(購入)することができる買増請求制度、または単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することができる買取請求制度をご利用いただけます。

お手続きに関するお問い合わせ

- 証券会社の口座に記録された株式については口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式については、特別口座の口座管理機関である右記の三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
剰余金の配当 毎年3月31日
そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<<http://www.kumagaigumi.co.jp/>>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所